

中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された 漢文の教材一覧（その3）

宮 崎 洋 一

筆者は、拙稿「中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された漢文の教材一覧¹⁾」（以下、「拙稿1」）において、中学校は平成14年4月1日から、高等学校は平成15年4月1日から、それぞれ施行された「学習指導要領」に拠って編集された、中学校の「国語」1～3と高等学校「国語総合」の教科書のすべてと高等学校「古典」の教科書²⁾について、採られた漢文の教材（合計419種³⁾を、後述するような教材に現れる中心人物や詩文の作者の生卒に従って時代順に整理した。その上で、漢文の教材が、古代の散文と中世の近体詩が中心で、訓読で読みにくい白話などは教材になっていないこと、『老子』『莊子』『墨子』『荀子』などの諸子、古詩、日本の漢文は、ほとんどが高等学校「古典」での教材になっていること、などを指摘した。

その後、「学習指導要領」の改訂にともなって、拙稿「中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された漢文の教材一覧（その2）⁴⁾」（以下、「拙稿2」）において、中学校は平成24年4月1日から、高等学校は平成25年4月1日から、それぞれ施行された「学習指導要領」に拠って編集された、中学校「国語」1～3と高等学校「国語総合」「古典B」の教科書のすべて⁵⁾について、拙稿1と同じように、採られた教材（442種）を教材を時代順に整理した。その上で、日本漢文の教材に大きな変化はない一方、中国の教材が中世と近世を中心に23種増えていること、中学校「国語」と高等学校「国語総合」で重複する教材が減っていること、また高等学校「国語総合」での『論語』の教材が減っている一方、『孟子』『老子』『莊子』『漁父の辞』（屈原）などが増えているし、「古典B」まで含めると、盛唐の詩が減っている一方、『三国志』などの中国の中世の漢文教材や近世（明清時代）の教材が増えており、全体として、漢文教材の内容の広がっていることなどを指摘した。さらに、その後、拙稿「中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された漢文の教材一覧（その2-2）⁶⁾」（以下、「拙稿2-2」）において、同じ「学習指導要領」の下で改訂された中学校「国語」1～3と高等学校「国語総合」「古典B」の教科書のすべて⁷⁾について、同じように、採られた教材（436種）を教材を時代

順に整理した。その上で、中国の古代・中世の教材が減少する一方、近世の教材が増えていることや、日本の教材も数の上では変化がないことなど、「拙稿2」の傾向が続いていること、「拙稿2」で増えた中学校「国語」の教材の種類が、「拙稿1」の時とほぼ近い数にもどったこと、高等学校の「国語総合」と「古典B」に共通する教材が98種から89種に減ったこと、などを指摘した。

本稿は、前述の拙稿を承けて、「学習指導要領」の改訂にともなって、中学校は令和3年4月1日から、高等学校は令和4年4月1日から、それぞれ施行された「学習指導要領」に拠って編集された、令和2年度末検定済の中学校「国語」1～3の教科書のすべて（4社、各社1種）、令和3年度末検定済の高等学校「言語文化」の教科書のすべて（9社、計17種）、および、令和4年度末検定済の高等学校「古典探求」の教科書のすべて（9社、計14種）⁸⁾の中で扱われた教材を、別表1に整理した。調査した教科書とそれぞれの表中の略称は、下記の通りである。

〈中学校〉

教出 『伝え合う言葉 中学国語』1～3、教育出版、令和2年3月検定済（703・803・903）

三省堂 『現代の国語』1～3、三省堂、令和2年3月検定済（702・802・902）

東書 『新編 新しい国語』1～3、東京書籍、令和2年3月検定済（701・801・901）

光村 『国語』1～3、光村図書、令和2年3月検定済（704・804・901）

〈高等学校「言語文化」〉

桐原 『探求 言語文化』桐原書店、令和3年3月検定済（言文717）

三省堂 a 『精選 言語文化』三省堂、令和3年3月検定済（言文703）

三省堂 b 『新 言語文化』三省堂、令和3年3月検定済（言文704）

数研 a 『言語文化』数研出版、令和3年3月検定済（言文707）

数研 b 『高等学校 言語文化』数研出版、令和3年3月検定済（言文708）

数研 c 『新編 言語文化』数研出版、令和3年3月検定済（言文709）

第一 a 『高等学校 言語文化』第一学習社、令和3年3月検定済（言文713）

第一 b 『高等学校 精選言語文化』第一学習社、令和3年3月検定済（言文714）

第一 c 『高等学校 標準言語文化』第一学習社、令和3年3月検定済（言文715）

第一 d 『高等学校 新編言語文化』第一学習社、令和3年3月検定済（言文716）

大修館 a 『言語文化』大修館書店、令和3年3月検定済（言文705）

大修館 b 『新編 言語文化』大修館書店、令和3年3月検定済（言文706）

筑摩 『言語文化』、筑摩書房、令和3年3月検定済（言文712）

東書 a 『新編言語文化』東京書籍、令和 3 年 3 月検定済（言文701）

東書 b 『精選言語文化』東京書籍、令和 3 年 3 月検定済（言文702）

文英堂 『言語文化』文英堂、令和 3 年 3 月検定済（言文710）

明治 『精選 言語文化』明治書院、令和 3 年 3 月検定済（言文711）

〈高等学校「古典探求」〉

桐原古 『探求 古典探求 漢文編』桐原書店、令和 4 年 3 月検定済（古探722）

三省堂古 『精選 古典探求 漢文編』三省堂、令和 4 年 3 月検定済（古探705）

数研古 a 『古典探求 漢文編』数研出版、令和 4 年 3 月検定済（古探710）

数研古 b 『高等学校 古典探求』数研出版、令和 4 年 3 月検定済（古探711）

第一古 a 『高等学校 古典探求 漢文編』第一学習社、令和 4 年 3 月検定済（古探718）

第一古 b 『高等学校 精選古典探求』第一学習社、令和 4 年 3 月検定済（古探719）

第一古 c 『高等学校 標準古典探求』第一学習社、令和 4 年 3 月検定済（古探720）

大修館古 a 『古典探求 漢文編』大修館書店、令和 4 年 3 月検定済（古探707）

大修館古 b 『精選 古典探求』大修館書店、令和 4 年 3 月検定済（古探708）

筑摩古 『古典探求 漢文編』筑摩書房、令和 4 年 3 月検定済（古探716）

東書古 a 『新編古典探求』東京書籍、令和 4 年 3 月検定済（古探701）

東書古 b 『精選古典探求 漢文編』東京書籍、令和 4 年 3 月検定済（古探703）

文英堂古 『古典探求』文英堂、令和 4 年 3 月検定済（古探712）

明治古 『精選 古典探求 漢文編』明治書院、令和 4 年 3 月検定済（古探714）

別表の記載方法は、これまでの拙稿とはほぼ同じで、下記の通りである。

No. ……大きく中国と日本に分けた上での教材の通し番号。ゴシック・網掛けの数字の教材は、「拙稿 2－2」での調査では、教材として扱われておらず、本稿の整理で、新たに教科書に加えられた教材を示す。

時代……中国と日本の時代や王朝。大きく中国と日本に分け、中国は、さらに「古代」（上古～後漢、紀元後220年まで）・「中世」（三国～唐五代、959年まで）・「近世」（宋～清、1911年まで）・「近現代」（1912年以降）に分けて太線で区切った。

文体……特に詩の場合にその型式を記した。古体詩の場合は「古詩」、さらに 1 句の字数が一定の場合は「五古」（五言古詩）など、近体詩の場合は「五絶」（五言絶句）「七律」（七言律詩）など。

出典／作者……その教材の出典や作者。

生卒……教材に現れる中心人物や詩文の作者の生卒。本稿では、教材は、出典の

書籍の成立年代ではなく、教材に現れる事件や人物や詩文の作者の時代順に並べた。例えば、No. 1「鼓腹撃壤」は、太古の聖天子の堯が中心人物であるが、出典は元の曾先之の『十八史略』であるように、歴史書などでは、出典となった書籍が成立した時代と書かれている事件や人物の時代が離れている場合があるからである。

中学校「国語」／高等学校「言語文化」……中学校「国語」と高等学校「言語文化」における教材の掲載箇所。上記の一覧で冒頭に掲げた出版社の略称で大別した上で、中学校の「国語」は教材が載せられた学年と掲載ページをゴシックで記し、高等学校の「言語文化」は、同じ出版社の教科書はabc…で区別して掲載ページを明朝体で記し、さらに同じ出版社の複数の教科書にある教材の場合はその一つのみの掲載ページを記して、最後に+印を付した。

高等学校「古典探求」……高等学校「古典探求」における教材の掲載箇所。中学校「国語」／高等学校「言語文化」と同様に、出版社の略称で大別した上で掲載ページを記し、さらに同じ出版社の複数の教科書にある教材の場合はその一つのみの掲載ページを記して、最後に+印を付した。

教材の総数は426種で、これまでの拙稿において指摘した、採られた漢文の教材が、

- ・ 中国の古代と中世に偏っていること
- ・ 高等学校の「言語文化」と「古典探求」の間で、『論語』はどちらにも採られているが、『老子』『莊子』『墨子』『荀子』などの多くは、「古典探求」で採られていること
- ・ 詩は近体詩が中心で古詩は「古典探求」で多く採られていること

については、大筋に変化はない。しかし、この度は、「学習指導要領」の改定によると思われる違いもあるので、その点なども含めて、教材の種類の変化を整理しておきたい。

(1) 中国の教材の減少について

「拙稿 2－2」と本稿の別表 1 を比較すると、「拙稿 2－2」では教材数が合計 436 種だったのに対して、今回は 426 種で、10 種（2.3%。「拙稿 2－2」の合計に対する割合）少なくなっている。

さらに細かく見てみると、中国の教材は 403 種から 365 種へ 38 種（9.4%）減少しており、その内訳は、古代の教材が 230 種から 204 種（別表 1 No. 1～204）へ 26 種（同 11.3%）減少、中世の教材が 140 種から 126 種（別表 1 No. 205～330）へ 14 種

(同10.0%) 減少、近世の教材が32種から34種(別表1 No. 331～364)へ2種(同6.3%)増加し、近現代の教材は数も内容も変化なかった(別表1 No. 365)。「拙稿2-2」に引き続いて、中国の教材は、古代・中世の教材の種類が減少した。

(2) 日本の教材の増加について

これに対して、日本の教材は、「拙稿2」と「拙稿2-2」の間ではほとんど違いは無かったが、今回は、「拙稿2-2」の33種から61種(別表1 No. 日01～日61)へ28種(同84.8%)と大きく増加した。しかも、「言語文化」でも多くの教材が掲載されている。「学習指導要領」の「言語文化」の「3 内容の取扱い」において、「日本漢文、近代以降の文語文や漢詩文などを含める」とされたことが大きく反映されている。付表に整理した教材では、夏目漱石が特に多い。

前回の「学習指導要領」改定後の「拙稿2」においては、その前の「拙稿1」での整理と比べると、中国の教材は72種扱われなくなって、新たに95種が加えられ、日本の教材は11種扱われなくなって、新たに11種が加えられていた。これに対し、本稿での整理では、「拙稿2-2」と比べると、中国の教材が105種扱われなくなって、新たに67種が加えられ、日本の教材が9種扱われなくなって、新たに37種が加えられた(今回、扱われなくなった教材は、中国と日本をあわせて、付表2に整理した。また、新たに加えられた教材の中には、「拙稿1」「拙稿2」の整理の時には扱われていて、再び加えられた教材、付表3の中国11種と日本4種を含んでいる)。おおよそ、日本の教材を増やした分、中国の教材が減った、とも言えるであろう。

(3) その他の特徴

このほかの特徴としては、中学校「国語」の漢文教材の種類が、20種から18種に減少した。特に、唐詩は、孟浩然「春暁」、李白「黃鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」、杜甫「絶句」「春望」の4種のみである。

また、高等学校「古典探求」の教材の数は、「拙稿2-2」の384種から333種へ51種(13.3%)減少しているが、「言語文化」と「古典探求」に共通する教材も、89種から77種で12種(13.5%)に減っており、教材の扱いや難易度には、大きな変化ないように思われる。

これまでの拙稿に引き続いて、本稿では、令和2～4年度末検定済の中学校「国語」高等学校「言語文化」「古典探求」の教科書の漢文教材を調査し、「拙稿2-

2」で調査した教科書との違いなどについて検討した。今後の教科書の改訂においても検討を続けてゆきたい。

注

- 1) 「中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された漢文の教材一覧」『文教国文学』第56号、広島文教女子大学国文学会、2012年2月、pp. 44(1)～28(17)、ISSN: 02863065、<https://doi.org/10.51095/kokubun.56.03>
- 2) 中学校「国語」は5社、各1種。高等学校「国語総合」は10社、23種。高等学校「古典」は11社、13種。
- 3) 「拙稿1」の表では418種となっているが、「拙稿2」において訂正した。詳細は、「拙稿2」の注(2)参照。
- 4) 『文教国文学』第59号、広島文教女子大学国文学会、2015年2月、pp. 42(11)～20(33)、ISSN: 02863065、<https://doi.org/10.51095/kokubun.59.03>
- 5) 中学校「国語」は平成22年度末検定済、5社、各1種。高等学校「国語総合」は平成23年度末検定済、9社、計23種。高等学校「古典B」は平成24年度末検定済、10社、計18種。
- 6) 『文教国文学』第63号、広島文教女子大学国文学会、平成31(2019)年2月、pp. 15～35、ISSN:02863065、<https://doi.org/10.51095/kokubun.63.02>
- 7) 中学校「国語」1～3は、平成26年度末検定済、5社、各1種。高等学校「国語総合」は平成27年度末検定済、9社、計24種、高等学校「古典B」は平成28年度末検定済、9社、計18種。
- 8) 「拙稿2-2」で調査した教科書と比べると、中学校は1社、1種減少、高等学校「言語文化」は1社増1社減、計7種減少、「古典探求」は1社、計5種減少している。

(本学教授)

別表 1 令和 2 ～ 4 年度末検定済みの中学校「国語」高等学校「言語文化」「古典探求」に掲載された漢文教材一覧

No.	時代	文体	教材	出典／作者	生卒	中学校「国語」／高等学校「言語文化」 (令和2/3年度末検定済)	高等学校「古典探求」 (令和4年度末検定済)
1	上古	跋扈聖賢		『十八史略』	生卒		第一古a-012+, 漢書古a-220
2	殷	伯夷・叔齊・孤竹君の二子なり		『史記』伯夷列伝	伯夷：BC1100頃		敦研古a-122+
3	殷	伯夷・叔齊、天道は是か非か		『史記』伯夷列伝	伯夷：BC1100頃		敦研古a-124+, 筑摩古086, 明治古158
4	西園	紀蒙	知に返すること則ち難し	『列女』宋織	紀蒙：位BC770-BC744		桐原古014, 三省堂古018, 漢書古a-205, 明治古016
5	春秋	管鮑之交わり		『韓非子』12説難	管仲：?-BC645		桐原古164, 大修館古a-078, 文英堂古386
6	春秋	管鮑の交わり		『韓非子』12説難	管仲：?-BC645		第一古a-134+
7	春秋	桓公 心に管仲を殺さんと欲す		『史記』齊太公世家	管仲：?-BC645		第一古a-132+
8	春秋	桓公 心に管仲を殺さんと欲す		『史記』齊太公世家	管仲：?-BC645		敦研古a-096+, 明治古135
9	春秋	桓公 心に管仲を殺さんと欲す		『史記』齊太公世家	管仲：?-BC645		
10	春秋	宋襄の仁		『列仙伝』	宋襄公：位BC651-BC637		東書古a-223
11	春秋	三年 飛ばず鳴かず		『十八史略』	楚莊王：位BC613-BC591		明治古024
12	春秋	顔回の蛇		『史記』/『新序』	顔叔敖：楚莊王の宰相		大修館古a-010+
13	春秋	病膏肓に入る		『春秋左氏伝』成公十年	BC581		桐原古010, 三省堂古016
14	春秋	鮑天		『詩経』周南	春秋前半		桐原古032, 三省堂古124, 敦研古a-156+, 大修館古a-106+, 筑摩古106, 東書古a-228+, 文英堂古302, 明治古116
15	春秋	顔淵		『詩経』魏風	春秋前半		敦研古b-071
16	春秋	詩経大序		『詩経』魏風	春秋前半		東書古b-163
17	春秋	望郷の序 斉の莊公 出でて瓢す		『新序』節士/『春秋左氏伝』襄公十五年	子罕：BC567-BC546頃在世		三省堂古022, 第一古a-007+
18	春秋	人ごとに其の宝を有するにしかず		『新序』節士/『春秋左氏伝』襄公十五年	子罕：BC567-BC546頃在世		明治古141
19	春秋	兵の形は水に象どる		『孫子』虚実	孫武：BC506頃		東書古a-224
20	春秋	呉越同舟		『孫子』虚実	孫武：BC506頃		第一古a-090+
21	春秋	呉越同舟		『孫子』虚実	孫武：BC506頃		東書古b-163
22	春秋	呉越同舟		『孫子』虚実	孫武：BC506頃		三省堂古022, 第一古a-007+
23	春秋	呉越同舟		『孫子』虚実	孫武：BC506頃		明治古141
24	春秋	呉越同舟		『孫子』虚実	孫武：BC506頃		東書古a-224
25	春秋	呉越同舟		『孫子』虚実	孫武：BC506頃		桐原古171
26	春秋	呉越同舟		『孫子』虚実	孫武：BC506頃		東書古b-163
27	春秋	呉越同舟		『孫子』虚実	孫武：BC506頃		三省堂古022, 第一古a-007+
28	戦国	呉越同舟		『孫子』虚実	孫武：BC506頃		桐原古092, 敦研古a-002+
29	春秋	学びて時に之を習う。亦説ばしからずや		『論語』01学而	孔子：BC552?-BC479		第二古a-008+, 筑摩古165
30	春秋	其の人と為りや孝弟にして、而も上を犯すを好む者は鮮なし		『論語』01学而	孔子：BC552?-BC479		敦研古089
31	春秋	巧言令色鮮なし仁と		『論語』01学而	孔子：BC552?-BC479		第一古a-075+

32	春秋	吾日に三たび吾身を省みる	『論語』01字而	孔子：BC552?-BC479	桐原185, 三省堂a-197+, 大修館b-251, 東書a-239+, 文英堂230, 明治169	桐原古071, 三省堂古063, 数研古a-062+, 東書古a-251
33	春秋	可なり。未だ賢しくして楽しみ當みて礼を好む者にはかきさるなり。	『論語』01字而	孔子：BC552?-BC479		文英堂古314
34	春秋	政を為すに徳を以てすれば賢まば北溪の其の所に照りて	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-198, 第一a-197+, 東書b-276, 明治167	
35	春秋	之を道くは政を以てし、之を齊うるに刑を以てすれば	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479	第一a-197+, 筑摩193, 明治168	
36	春秋	吾 十有五にして字に志す	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479	三省堂3-132 /桐原184, 三省堂a-194, 数研a-182+, 第一c-247, 大修館a-236+, 筑摩192, 東書a-238+, 文英堂228, 明治169	
37	春秋	父兄は唯だ其の疾をこれ憂う	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479	東書a-242+	
38	春秋	政きを道ねて新しきを知れば、以て師と為るべしと	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479	三省堂3-133, 光村3-29 /三省堂b-227, 第一a-192+, 大修館a-245, 明治166	
39	春秋	学びて思わざれば則ち罔し	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479	東書3-145, 光村3-30 /桐原185, 三省堂a-195+, 数研a-184+, 第一a-192+, 大修館a-242+, 筑摩190, 文英堂228, 明治166	
40	春秋	由よみに之を知るを勉めんか	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479	数出2-144 /三省堂a-195, 数研a-186+, 第一a-193+, 筑摩191, 東書a-239, 明治166	桐原古071
41	春秋	富と貴とは是れ人の欲する所なり	『論語』04里仁	孔子：BC552?-BC479	三省堂古062	
42	春秋	朝に道を聞かば	『論語』04里仁	孔子：BC552?-BC479	文英堂232	
43	春秋	士 道に志して庶幾庶幾を称する者は	『論語』04里仁	孔子：BC552?-BC479	文英堂232	
44	春秋	君子は義に鳴り、小人は利に鳴る	『論語』04里仁	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200, 筑摩193	
45	春秋	君子は道に訓にして行いに、敏ならん	『論語』04里仁	孔子：BC552?-BC479	大修館a-238	
46	春秋	道行われず、程に乗りて侮に浮かばん	『論語』05公冶長	孔子：BC552?-BC479		東書古b-053
47	春秋	敏にして学を好み、下問を取じす	『論語』05公冶長	孔子：BC552?-BC479	三省堂b-228	
48	春秋	なんぞをなんじの志を言わざる…老者は之を安心せしめ、朋友は	『論語』05公冶長	孔子：BC552?-BC479	東書b-276	筑摩古072
49	春秋	顔回という者有り、学を好む	『論語』06雍也	孔子：BC552?-BC479	桐原185, 三省堂a-195, 大修館a-240, 筑摩191	東書古b-052
50	春秋	賢なるかみな回復。一章の食、一瓢の飲、陋巷に在り	『論語』06雍也	孔子：BC552?-BC479		大修館古a-064+
51	春秋	予の道を説はざるに非ず	『論語』06雍也	孔子：BC552?-BC479	大修館a-244	
52	春秋	女、人を得たりや…行くに得に由らず	『論語』06雍也	孔子：BC552?-BC479		
53	春秋	之を知る者は之を好む者にし。之を好む者は之を愛するに如し	『論語』06雍也	孔子：BC552?-BC479		大修館古a-067+
54	春秋	何を口を事とせけん。必ず空を聞か	『論語』06雍也	孔子：BC552?-BC479		
55	春秋	憤々すんば啓せず、伸せずんば発せず。一颯を奉けて	『論語』07述而	孔子：BC552?-BC479	第一a-194+	
56	春秋	之を用うれば則ち行ひ、之を舍つれば則ち辱る	『論語』07述而	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-202, 筑摩191, 東書b-275, 明治167	東書古b-166
57	春秋	疾風を顧らば水を飲み	『論語』07述而	孔子：BC552?-BC479	数研a-186+	桐原古071
58	春秋	我は生まれながらにして之を知る者に非ず	『論語』07述而	孔子：BC552?-BC479	数研a-183+, 文英堂232	大修館古a-144+
59	春秋	三人行けば、必ず我が師有り。其の善なる者を取りて	『論語』07述而	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-227	
60	春秋	学は取はざるが如くするも	『論語』08泰伯	孔子：BC552?-BC479	数研a-184+	桐原古072
61	春秋	逝く者は斯くの如きか	『論語』09子罕	孔子：BC552?-BC479	第一a-193+	
62	春秋	賢人は出を為るが如し。未だ一實を成さざるも	『論語』09子罕	孔子：BC552?-BC479	東書b-276, 文英堂233, 明治170	
63	春秋	疵染けり。子朝より退きて曰く、人を傷つくるかぞ。馬を問わす	『論語』10郷党	孔子：BC552?-BC479	明治167	
					三省堂b-228, 数研a-183+, 東書a-240+	

64	春秋	去人に事うることを使わず 卿や大夫なり。前や及ばず。…過ぎたるは 猶及ぶるがごとし	『論語』11先進	孔子：BC552?-BC479	文英堂233	桐原古072, 大修館古a-146+, 文英堂古314
65	春秋	父兄の仕る有り。之を如何ぞ其れ聞くがま まに斯れ之を行わん	『論語』11先進	孔子：BC552?-BC479	大修館a-240	大修館古a-066+, 文英堂古315
66	春秋	己の欲せざるところは、人に施すことなか れ	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	新出2-144/	
67	春秋	君子は憂さず懼れずと	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	桐原187, 聚研a-185+, 東書a-241+, 明治168	桐原古072, 東書古b-048
68	春秋	食を足らし兵を足らし民之を信にすと	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200	三省堂古063, 文英堂古316
69	春秋	君子は人の美を成して人の恥を成せず	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-198, 第一a-196+, 筑摩193, 明治168	
70	春秋	政は正なり。子 帥いて正を以てせば、 教が恥えて正しからざらん	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200, 筑摩194	
71	春秋	君子の徳は風、小人の徳は草なり。…	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	大修館a-244	明治古086
72	春秋	徳を以て正さる。子曰く、人を愛すと	『論語』13子路	孔子：BC552?-BC479	桐原187, 三省堂a-198, 大修館b-252, 東書a-240+	
73	春秋	必ずや人を正さなからば、恥を分かち由や、 其の身を正しければ恥せざりて行われ	『論語』13子路	孔子：BC552?-BC479	桐原186, 聚研a-183+, 明治170	東書古b-164
74	春秋	父は子の爲に隠し、子は父の爲に隠す	『論語』13子路	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200, 第一a-194+, 大修館b-251, 文英堂230	東書古a-250
75	春秋	君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず	『論語』13子路	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200	
76	春秋	君子は寡にして驕らず	『論語』13子路	孔子：BC552?-BC479	桐原186, 三省堂a-196, 大修館b-250	
77	春秋	剛毅は剛 仁に近し	『論語』13子路	孔子：BC552?-BC479	大修館a-238	
78	春秋	徳有る者は必ず言有り、言有る者必ずしも 徳有らず 仁者は必ず勇有り、勇者は必ず しも仁有らず	『論語』14憲問	孔子：BC552?-BC479	第一a-193+	
79	春秋	古の学ぶ者は己の爲にし、今の学ぶ者は人 の爲にす	『論語』14憲問	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200, 筑摩193	
80	春秋	子路君子を問う。子曰く、己を修めて以て 教すと	『論語』14憲問	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200	大修館古a-147, 東書古b-052, 文英堂古316
81	春秋	君子より親す。小人よりは斯に慕ふと	『論語』15衛蘄公	孔子：BC552?-BC479	桐原古073	
82	春秋	君子は之れを己に求め、小人はこれ人に 求む	『論語』15衛蘄公	孔子：BC552?-BC479		
83	春秋	一言にして以て終身之を行く者有るか。と。 …其れ勉か。己の欲せざるところ、	『論語』15衛蘄公	孔子：BC552?-BC479	三省堂3-133, 東書3-146/桐原186, 三省堂a-194+, 聚研a-185+, 第一a-194+, 大修館a-244+, 文英堂231, 明治170	
84	春秋	過ちて改めざる、是れを過らんと謂う	『論語』15衛蘄公	孔子：BC552?-BC479	東書古a-250	
85	春秋	益者三友、損者三友。直きを友とし、諛を 友とし	『論語』16季氏	孔子：BC552?-BC479	文英堂231	
86	春秋	性あい近き也	『論語』17陽貨	孔子：BC552?-BC479		東書古a-251+
87	春秋	長沮桀溺隠して耕す。孔子之を過ぎ て問う	『論語』18微子	孔子：BC552?-BC479		東書古b-048
88	春秋	子路使いて後る。夫人の杖をもつて篠を荷 うに問う	『論語』18微子	孔子：BC552?-BC479		東書古b-181, 文英堂古337
89	春秋	子夏曰く、博く學びて篤く志し、 礼記 檀弓下	『論語』19子張	孔子：BC552?-BC479		桐原古097
90	春秋	昔者は能よりも猛なるなり	『論語』19子張	孔子：BC552?-BC479		
91	春秋	子路	『論語』19子張	孔子：BC552?-BC479		
92	春秋	子路	『論語』19子張	孔子：BC552?-BC479		
93	春秋	子路	『論語』19子張	孔子：BC552?-BC479		
94	春秋	子路	『論語』19子張	孔子：BC552?-BC479		

95	春秋	後世を顧みず	『説苑』09正諫 『十八史略』	夫差：位BC495-BC473 句踐：位BC496-BC465	桐原159, 三省堂a-164, 第一a-170+, 大修館a-257, 東書b-283, 明治140	桐原古086, 三省堂古106, 第一古a-088+
96	春秋	臥薪嘗胆	『呂氏春秋』	伯牙：春秋楚国	桐原140	数研古a-098+, 第一古a-099+, 大修館古a-008+, 筑摩古012, 東書古a-161
97	春秋	知音	『韓非子』32外儲說左下			数研古a-018+
98	春秋	鄭八に目にも腹を買わんとする者有り	『孟子』公孫丑上	宋：春秋戦国	数出1-124/数研a-248, 東書b-242	第一古c-140
99	春秋	助長	『列子』黄帝	宋：春秋戦国	桐原142, 三省堂a-150+, 数研a-152+, 筑摩198, 東書b-247, 明治128	第一古c-144, 文英堂古266
100	春秋	朝三暮四	『莊子』齊物論	宋：春秋戦国	筑摩199	第一古c-182
101	春秋	宋人に子を嫁する者あり	『淮南子』記論訓	宋：春秋戦国		数研古a-070+, 東書古b-168, 文英堂古374
102	春秋	上善は水の若し	『老子』03章	老子：BC400頃?		東書古b-080, 明治古132
103	戦国	賢者をばはれば民をしてわびらしむ	『老子』08章	老子：BC400頃?		桐原古158, 三省堂古068, 数研古a-070+, 大修館古a-152, 筑摩古160, 東書古a-256+, 文英堂古576, 明治古132
104	戦国	上善は水の若し	『老子』11章	老子：BC400頃?		桐原古158, 三省堂古068, 第一古a-075+, 大修館古a-074+, 東書古a-257+, 明治古090
105	戦国	無用の用 三十輻 一般を共にす		老子：BC400頃?		大修館古a-148+
106	戦国	大道廢れて仁義有り、奇難出でて大偽あり	『老子』18章	老子：BC400頃?	筑摩195	
107	戦国	兵は不祥の器、君子の器に非ず	『老子』31章	老子：BC400頃?		
108	戦国	人を知る者は器、自ら知る者は明なり	『老子』33章	老子：BC400頃?	筑摩195	
109	戦国	知る者は言わず、言う者は知らず	『老子』56章	老子：BC400頃?	筑摩196	
110	戦国	無事を以て天下を取る	『老子』57章	老子：BC400頃?		桐原古170
111	戦国	江海のもってよく百谷の主たる所以の者はその徳に下るをもちてなり	『老子』66章	老子：BC400頃?		第一古c-207
112	戦国	人の生や柔弱なり。其の死生や、	『老子』76章	老子：BC400頃?		第一古c-206, 東書古b-079
113	戦国	天下水より柔弱なるは莫し	『老子』78章	老子：BC400頃?		三省堂古174, 第一古a-081+, 筑摩古160, 東書古b-163
114	戦国	小国寡民、什伯の器有れども用いざらしむ	『老子』80章	老子：BC400頃?	筑摩197	桐原古049, 三省堂古077, 数研古a-071+, 第一古a-080+, 大修館古a-075+, 東書古a-257+, 文英堂古375, 明治古090
115	戦国	凡そ天下の禍端怨恨、其の起る所以の者は今一人有り。人の園圃に入りて其の桃李を食ひ、	『墨子』兼愛中	墨翟：BC468?-BC376		大修館古a-149+, 筑摩古166, 東書古b-168, 明治古137
116	戦国	定を置む 子墨子 耕柱を怒る	『墨子』非攻上	墨翟：BC468?-BC376		桐原古166, 三省堂古180
117	戦国	狐 虎の威を借る	『墨子』耕柱	墨翟：BC468?-BC376		筑摩古167
118	戦国	狐 虎の威を借る	『戦国策』楚策	楚宣王：位BC369-BC340	三省堂a-148+, 数研a-150+, 第一a-164+, 大修館b-244, 筑摩156, 東書a-224+, 文英堂187	
119	戦国	官を嫌する者、昔者韓昭侯は酔いて寝ぬ	『韓非子』07二柄	韓昭侯：位BC358-BC333		桐原古163, 数研古a-076+, 第一古a-084+, 大修館古a-077+, 筑摩古164, 東書古a-200+, 文英堂古384, 明治古139
120	戦国	桑楨	『史記』孫子呉起列伝/『十八史略』	斉威王：位BC356?-BC321?		第一古a-130+, 137+
121	戦国	敗れて備詐するなし	『史記』孫子呉起列伝/『十八史略』	斉威王：位BC356?-BC321?		第一古a-014+
122	戦国	五十歩百歩/王道	『孟子』01梁恵王上	魏(梁)恵王：位BC369-BC319	桐原191, 数研a-188, 第一c-210+, 大修館b-240, 東書a-222, 文英堂188	明治古018
123	戦国	皇子申を譲しとせしめて来たの 何ぞ必ずしも利と曰わん	『孟子』01梁恵王上	魏(梁)恵王：位BC369-BC319		三省堂古170, 第一古a-077+, 大修館古a-072
124	戦国	庖丁 文恵君のために牛を解く	『莊子』内編養生主	魏(梁)恵王：位BC369-BC319		数研古a-095+

125	戦国		三人 虎を成す	『戦国策』 魏策	魏(楚) 惠王：位BC389-BC319		明治古202
126	戦国	魏口半後		『十八史略』	蘇秦：?-BC317	桐原150, 三省堂b-140, 数研a-162+, 第一-c-238, 文英堂200, 明治136	
127	戦国	張儀		『史記』 張儀列伝/『十八史略』	張儀：?-BC309	第一古a-140+, 141+, 142+	
128	戦国	鮑足		『戦国策』 齊策	張儀王：?-BC296	東書古b-158	
129	戦国	鮑を重いて人を食ましむ 民の父母		『孟子』 01梁惠王上	孟子：BC372?-BC289?	第一古c-204	
130	戦国	恒産無ければ恒心無し		『孟子』 01梁惠王上	孟子：BC372?-BC289?	三省堂古064, 東書古b-167	
131	戦国	人に忍びざとの心		『孟子』 02公孫丑上	孟子：BC372?-BC289?	桐原古074, 三省堂古065, 数研古a-064+, 大修館古a-068+, 筑摩古b-078, 東書古a-253, 文英堂古223	
132	戦国	源泉は涸渇として昼夜を怠かず。		『孟子』 05離婁下	孟子：BC372?-BC289?	東書古b-162	
133	戦国	仁者は人を愛し、礼者は人を敬す。		『孟子』 05離婁下	孟子：BC372?-BC289?	大修館a-245	
134	戦国	性はなお滴水のごときなり。…水は信に東西を分かちつゝ無きも、上下を分かたんとや		『孟子』 06告子上	孟子：BC372?-BC289?	桐原古075, 三省堂古171, 数研古a-066+, 第一古a-078+, 大修館古a-071+, 筑摩古076, 東書古b-058, 明治古128	
135	戦国	仁は人の心なり、義は人の路なり。		『孟子』 06告子上	孟子：BC372?-BC289?	第一古c-204, 東書古b-049, 文英堂古322	
136	戦国	君子に三業あり、而して天下に主たるは		『孟子』 07尽心上	孟子：BC372?-BC289?	東書古b-050	
137	戦国	聖人天下を治む。穀粟水火の如くんば		『孟子』 07尽心下	孟子：BC372?-BC289?	桐原古084	
138	戦国	感公田を修す、太行・王屋二山は方七百里		『列子』 湯問	莊子より前?	三省堂古176, 筑摩古091	
139	戦国	不佞の道		『列子』 説符	莊子より前?	第一古a-092+	
140	戦国	無用を知りて始めてともに用を言うべし。足を脚りて之を載る。		『莊子』 雑篇外物	惠施：BC370?-BC310?	筑摩古163	
141	戦国	言大にして用無し。子独り雅狂を見ずや。身を重くして伏し、以て敵を害を倣つ。		『莊子』 内篇逍遙遊	莊周：BC369?-BC286?	桐原古161	
142	戦国	夢に胡蝶と為る		『莊子』 内篇齊物論	莊周：BC369?-BC286?	桐原古159, 三省堂古175, 数研古a-074+, 第一古c-209, 大修館古a-151+, 東書古b-083, 文英堂古378, 明治古134	
143	戦国	渾沌、南海の帝を鑪と為し		『莊子』 内篇心帝王	莊周：BC369?-BC286?	数研古a-074+	
144	戦国	尾を腹中に曳く		『莊子』 外篇秋水	莊周：BC369?-BC286?	三省堂古069, 数研古a-073+, 第一古a-083+, 大修館古a-076+, 筑摩古014, 東書古a-258+, 文英堂古377, 明治古092	
145	戦国	鰭 鰭腹を得たり		『莊子』 外篇秋水	莊周：BC369?-BC286?	第一古c-208	
146	戦国	不勇、給清子王の為に鬪勇を養う		『莊子』 外篇養生	莊周：BC369?-BC286?	第一古c-074+	
147	戦国	先ず腹より始めよ		『戦国策』 燕策/『十八史略』	燕昭王：位BC311-BC279	桐原古013, 筑摩古016, 東書古b-008, 文英堂古344	
148	戦国	趙盾拘盗		『十八史略』	孟嘗君：?-BC279?	第一古a-016+	
149	戦国	漁父の辞		屈原	BC343?-BC277?	桐原古114, 三省堂古054, 数研古a-084+, 第一古a-096, 筑摩古018, 東書古b-086, 文英堂古330, 明治古054	
150	戦国	璧を売うして帰る		『史記』 廉頗藺相如列伝/『十八史略』	趙惠文王：位BC298-BC266	桐原古140, 三省堂古111, 数研古a-128+, 筑摩古120-121, 東書古b-012	
151	戦国	趙惠の会		『史記』 廉頗藺相如列伝/『十八史略』	趙惠文王：位BC298-BC266	桐原古141, 筑摩古124, 東書古a-242, 明治古146	
152	戦国	列頭の交わり		『史記』 廉頗藺相如列伝	趙惠文王：位BC298-BC266	桐原古147, 三省堂古114, 数研古a-131+, 大修館古a-116+, 筑摩古127, 東書古a-245, 明治古149	

153	戦国	漁夫の利		『戦国策』 燕策	趙惠文王：位BC298-BC266 摩158	桐原138, 三省堂a-146, 数研a-146+, 第一a-162+, 筑文英堂古267
154	戦国	不死の薬		『韓非子』22説林上 『戦国策』	程瑱襄王：？-BC263	三省堂古102, 東書古b-010, 明治古012
155	戦国	学は以て已むべからず。青は之を藍より取 りて		『荀子』勸学	荀況：BC313?-BC238?	桐原古077, 三省堂古172, 東書古a-198
156	戦国	星塵も、木鳴る		『荀子』天論	荀況：BC313?-BC238?	桐原古078
157	戦国	人の性は悪なり		『荀子』性悪	荀況：BC313?-BC238?	桐原古079, 三省堂古067, 数研古a-068+, 大修館古a-070+, 筑摩古081, 東書古a-254+, 文英堂古325, 明治130
158	戦国	舟に倒れて舟を求む		『呂氏春秋』慎大覽	呂不韋：BC?-BC235	東書古a-202, 文英堂古343
159	戦国	呂不韋		『史記』呂不韋列伝	呂不韋：BC?-BC235	大修館古a-120-123-126
160	戦国	君主の二柄		『韓非子』07二柄	韓非：BC295?-BC233	桐原古082
161	戦国	矛盾		『韓非子』36楯一	韓非：BC295?-BC233	藤田1-122, 三省堂1-132, 東書1-144, 米村1-171/数研a-148+, 第一a-218+, 東書b-240, 文英堂186
162	戦国	母の子を愛するや、		『韓非子』46六臣	韓非：BC295?-BC233	大修館古a-150+
163	戦国	蒙に寄るなり		『韓非子』47八説	韓非：BC295?-BC233	第一a-088+
164	戦国	行旅、驛人は修古を明せず。		『韓非子』49五蠹	韓非：BC295?-BC233	三省堂古178
165	戦国	公私相背 驛人に重刑を罰せるものあり。		『韓非子』49五蠹	韓非：BC295?-BC233	東書古b-165
166	戦国	法は主の本なり、刑は象の目めなり。		『韓非子』54心度	韓非：BC295?-BC233	第一古a-210
167	戦国	荆軻		『史記』刺客列伝/ 『十八史略』	荆軻：？-BC227 筑摩167	桐原古094, 三省堂古117-120, 数研古a-134+・137+, 第一古a-144+・145+・147+, 大修館古a-129・131+, 134+, 東書古b-120-124, 明治古152-155
168	戦国	島 嶋に棲う		『史記』16説略	第一a-214	
169	秦	天下天下に定まる 那人 叱咄の身を以て		『史記』始皇本紀	始皇帝：BC259-BC210	東書古b-127
170	秦	燕兼いすくんとて鴻臚の志を知らんや		陳勝：？-BC208	東書古a-225, 明治古026	三省堂古166
171	秦	劉邦、大才当に此くの如くなるべきなり		『史記』高祖本紀	劉邦：BC247?-BC195	大修館古a-038
172	秦	項羽、項羽少き時、事を察びて成らず		『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	大修館古a-036
173	秦	項羽の会 楚軍ゆくゆく秦の地を略定し順 谷間に至る		『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	第一古a-032+, 筑摩古038
174	秦	鴻門の会 沛公旦日百餘騎を従え		『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	桐原古053, 三省堂古037, 数研古a-042+, 第一古a-034+, 大修館古a-040+, 筑摩古041, 東書古a-182+, 明治古067
175	秦	鴻門の会 項王項伯は東嚮して坐し…是に 於いて強良軍門に至り…暗殺に入り、帷を 破きて西嚮して立ち…項王曰く、壮士な を		『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	桐原古056-058, 三省堂古040, 数研古a-044+, 第一古a-036+, 大修館古a-043+, 筑摩古042, 東書古a-183+, 文英堂古279, 明治古067
176	秦	鴻門の会 沛公すて出づ。項王都尉陳平 をして		『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	桐原古060, 三省堂古042, 数研古a-047+, 第一古a-038+, 筑摩古044, 東書古a-188+, 文英堂古283, 明治古071
177	秦	鴻門の会 張良入りて辭して曰く、沛公栢 に歸せず		『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	桐原古062, 三省堂古043, 数研古a-048+, 第一古a-039+, 明治古072
178	秦	宮殿放火 居ること数日、項羽兵を引き、		『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	明治古073
179	秦	四面楚歌		『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	桐原古066, 三省堂古046, 数研古a-050+, 第一古a-042+, 大修館古a-046+, 筑摩古047, 東書古a-190+, 文英堂古284, 明治古074

180	秦		項王自刎、烏江亭	『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202		桐原古068, 三省堂古048, 敬研古a-063+, 第一古a-044+, 大修館古a-043+, 筑摩古048, 東書古a-192+, 文英古281, 明治古076
181	前漢		吾の天下を有ちし所以の者は何ぞや	『史記』高祖本紀	劉邦：BC247?-BC195		東書古b-044
182	前漢		威、海内に加わりて故郷に帰る。大風之歌	『史記』高祖本紀	劉邦：BC247?-BC195		東書古b-046
183	前漢		蕭何、兵を進む。始め布衣なりし時	『史記』淮陰侯列伝	韓信：BC?-BC196		東書古b-128
184	前漢		免して縛下より出づ	『史記』淮陰侯列伝	韓信：BC?-BC196		東書古b-129
185	前漢		信しばしは蕭何と語り何之を奇とす	『史記』淮陰侯列伝	韓信：BC?-BC196		筑摩古130
186	前漢		無双	『史記』淮陰侯列伝	韓信：BC?-BC196		筑摩古132
187	前漢		韓信の計策 大王自ら料るに項王にいずれぞ	『史記』淮陰侯列伝	韓信：BC?-BC196		桐原古022, 第一古a-020+, 東書古b-130, 明治古028
188	前漢		水を背にして陳す	『史記』淮陰侯列伝	韓信：BC?-BC196		東書古b-134
189	前漢		交を免死して良御亭らる	『史記』淮陰侯列伝	韓信：BC?-BC196		三省堂古020, 大修館古a-014+, 東書古a-203, 明治古013
190	前漢	古詩	塞翁が馬	『淮南子』人間訓	劉安：BC179-BC122	桐原144, 筑摩160, 東書b-248	三省堂古126, 筑摩古107, 明治古117
191	前漢	古詩	秋風の聲	漢の武帝	BC156-BC87		桐原古150・154
192	前漢		蘇武と李陵。蘇武節を稱す。	『資治通鑑』/『十八史略』	蘇武：BC140-BC60		筑摩古108
193	前漢		蘇武	『後漢書』	李延年：武帝朝の人		桐原古083
194	前漢		蘇武はあい長ずるなり	『礼記』字記	蘇武：武帝朝の人		敬研古b-252, 筑摩古057
195	前漢		王昭君	『西京雜記』/『世説新語』	漢元帝：位BC49-BC33		東書古a-229
196	前漢	古詩	上郡	『後漢書』	光武帝：位25-57		大修館古a-012+
197	後漢		曹操の妻	『後漢書』	AI62		大修館古a-090
198	後漢		天竺二女	『國朝録』	陳寔：104-187		桐原古014, 敬研古a-100+
199	後漢		梁上の鴉子	『後漢書』陳寔伝	陳寔：104-187		東書古b-062
200	後漢		小時了了 孔文舉、年十歳にして父に随ひて	『論衡集解』	鄭玄：127-200		第一古a-058+
201	後漢		邊女	『世説新語』	孔文舉：153-208		明治古098
202	後漢		閨女	『魏都記』	曹水		桐原古033, 第一古a-108+, 大修館古a-107+, 東書古b-073, 明治古118
203	後漢		閨女	『魏都記』	曹水		三省堂古125, 東書古b-094
204	後漢	古詩	行き行き重ねて行き行く	『文選』			東書a-252
205	三国		年半古に満たず	『文選』	曹魏：155-220		東書a-248
206	三国		魏武 刀を振る	『世説新語』	200		東書a-250
207	三国		曹公 白馬に鞍を	『三国志』	關羽：?-219		三省堂古154
208	三国		曹公 關羽を以て義と為す	『三国志』	張飛：?-221		三省堂古158・161
209	三国		桃園結義	『三国志演義』1回	華飛：157-231		三省堂古164, 東書古a-21+
210	三国		張飛やいかに長坂橋を隔がす	『三国志演義』42回	劉備：161-223		桐原古088, 三省堂古156, 第一古a-148, 大修館古a-100+, 東書古a-208, 文英古350, 明治古030
211	三国		飛龍・王朗共に船に乗りて難を避く	『世説新語』	華飛：157-231		筑摩古145, 東書古b-100
212	三国		劉備の死 脱肛の力をつくす	『十八史略』	劉備：161-223		東書古a-212
213	三国		諸葛孔明、孔明臥龍。三顧の礼。水魚の交わり	『三国志』/『華飛』/『十八史略』	諸葛亮：181-234		
214	三国		諸葛孔明、出師の表	『十八史略』/『古文真宝後集』	諸葛亮：181-234		
214	三国		流涕して馬蹏を斬る	『十八史略』	馬蹏：190-228		

215	三国	赤松の晩、曹娥納表を撃つ。表卒中。子の 宗苑州を率げて	『十八史略』/『三国 志』(呉書)周胤伝	208年		相原古107, 三省堂古162, 第一古 ^a -151, 東書古b- 066, 明治古038
216	三国	死せる諸葛、生ける仲達を走らす	『十八史略』	司馬懿: 179-251	筑紫171	第一古 ^a -154, 大修館古 ^a -103 ^a , 東書古 ^a -214, 文英 堂古333
217	三国	典論 論文	『文選』	曹丕: 186-226		筑紫古098
218	三国	七野の詩	『世説新語』	曹植: 192-232		相原古034
219	三国	野田黄雀行	『古詩選』	曹植: 192-232		東書古b-074
220	三国	魏王 董昭之がつて船に乗り	『搜神記』			第一古 ^a -062 ^a
221	西晋	魏王 董昭之がつて船に乗り	『世説新語』/ *	孫子鼎: 218?-293	数研 ^a -145 ^a	相原古009, 数研古 ^a -019 ^a , 大修館古 ^a -011 ^a , 東書古 b-014, 明治古010
222	西晋	三顧、周旋年少き時、兄臨風氣にして郷里 の愚うる所と爲る	『世説新語』	周處: 236-297		相原古090, 三省堂古104, 数研古 ^a -102 ^a
223	西晋	見を売る、南陽の宋定伯	『搜神記』/『太平 廣記』	石崇: 249-300		三省堂古078, 数研古 ^a -106 ^a , 第一古 ^a -060 ^a , 大修館 古 ^a -088 ^a , 筑摩古054, 東書古b-066
224	西晋	蘇武賦	『文選』	261-303	筑摩084	
225	西晋	魏の魏鳳 吟巻	『搜神記』			筑摩古054
226	西晋	長安は日の遠きといふ	王羲之: 位317-322	353	文英堂248	東書古b-064
227	東晋	傅亮序	『世説新語』	桓温: 312-373	明治130	
228	東晋	断腸	『世説新語』			筑摩1988, 東書古 ^a -160
229	東晋	五古 飲酒	陶潜	365-427		三省堂古127, 数研古 ^a -157 ^a , 大修館古 ^a -108 ^a , 筑摩 古108, 東書古 ^a -230 ^a , 文英堂古306, 明治古119
230	東晋	五古 子を買む	陶潜	365-427		第一古 ^a -108 ^a
231	東晋	婦去采の辞	陶潜	365-427	文英堂古392	
232	東晋	桃花源記	陶潜	365-427		相原古046, 三省堂古074, 数研古 ^a -087 ^a , 大修館古 ^a -056 ^a , 筑摩古021, 東書古 ^a -177 ^a , 明治古057
233	東晋	五卿先生の伝	陶潜	365-427	第一古 ^a -098, 筑摩古100, 東書古b-090	第一古 ^a -084 ^a
234	南北	賀粉呈	『御明録』		柳原古034	
235	南北	勅勒の歌	劉義慶: 403-444			
236	南北	面点点睛	『梁武帝集』/『古 詩賞析』	解律金: 北齊		
237	初唐	子朝より退きて曰く、人を傷えるやんや と	『歴代名臣記』	梁武帝: 位502-549		相原古008, 三省堂古014, 数研古 ^a -021 ^a , 第一古 ^a - 142, 大修館古 ^a -009 ^a , 文英堂古342, 明治古015
238	初唐	望望	陳德明: ?-430	数研 ^a -191 ^a		筑摩古030
239	初唐	張 善才を名をわす(貞觀の治)	585-644			相原古172
240	初唐	御製成(貞觀の治)	唐太宗: 597-649			東書古b-015
241	初唐	杜少府の杜に鄭州に之くを送る	唐太宗: 597-649			東書古b-024
242	初唐	白頭を羨じわれに代わる	649?-679?			明治古120
243	初唐	陳思記	631-679?			筑摩古140, 東書古b-156
244	盛唐	涼州詞	陳綬: 692年、衡州に家す	第一古 ^a -203 ^a		
245	盛唐	鄜園樓に登る	王翰	687?-726?		相原古007, 数研古 ^a -267, 筑摩180, 東書 ^a -232 ^a , 明治151
246	盛唐	孟浩然江に宿る	孟浩然	688-742	相原163, 数研 ^a -168 ^a , 筑摩178	三省堂古027, 文英堂古298
247	盛唐	春曉	孟浩然	689-740	東書古b-021	三省堂古026, 東書古 ^a -166 ^a
248	盛唐	故人の庄に歸さる	孟浩然	689-740	文英堂古372	
249	盛唐	故人の庄に歸さる	孟浩然	689-740	文英堂古372	
250	盛唐	故人の庄に歸さる	孟浩然	689-740	文英堂古372	

249	盛唐	五律	王維	五絶然	689-710	桐原古030
250	盛唐	七絶	杜甫	杜甫	700年進士	明治古109
251	盛唐	七絶	王維	王維	683?-755?	桐原古028, 筑摩古29
252	盛唐	五絶	王維	王維	689?-761?	三省堂古026, 教研古a-028+, 第一古c-158, 文英堂古294
253	盛唐	五絶	王維	王維	689?-761?	大修館古a-016+, 明治古040
254	盛唐	五絶	王維	王維	689?-761?	桐原古027
255	盛唐	七絶	王維	王維	689?-761?	東書古a-170
256	盛唐	七絶	王維	王維	689?-761?	第一古a-049+, 筑摩古029
257	盛唐	五古	王維	王維	689?-761?	筑摩古109
258	盛唐	五絶	李白	李白	701-762	大修館古a-022, 東書古b-108
259	盛唐	五絶	李白	李白	701-762	第一古a-048+, 筑摩古028, 東書古b-108
260	盛唐	五絶	李白	李白	701-762	三省堂古032, 東書古a-168
261	盛唐	五絶	李白	李白	701-762	筑摩古059
262	盛唐	七絶	李白	李白	701-762	桐原古028, 文英堂古296, 明治古041
263	盛唐	七絶	李白	李白	701-762	大修館古a-019+, 東書古b-109
264	盛唐	七絶	李白	李白	701-762	第一古a-169, 大修館古a-018+
265	盛唐	七絶	李白	李白	701-762	大修館古a-024+
266	盛唐	七絶	李白	李白	701-762	教研古a-029+
267	盛唐	七絶	李白	李白	701-762	大修館古a-059+
268	盛唐	七絶	李白	李白	701-762	三省堂古028, 東書古b-110, 文英堂古300
269	盛唐	七絶	李白	李白	701-762	桐原古100, 東書古b-111, 明治古122
270	盛唐	五律	李白	李白	701-762	大修館古a-084+, 東書古a-231, 文英堂古303
271	盛唐	五律	李白	李白	701-762	桐原古044, 三省堂古058, 第一古a-100, 大修館古a-142, 筑摩古025, 東書古b-092
272	盛唐	五古	李白	李白	701-762	教研古a-084+, 東書古b-025, 明治古042
273	盛唐	五古	李白	李白	701-762	第一古c-168, 東書古b-113
274	盛唐	五律	李白	李白	701-762	三省堂古028, 東書古b-110, 文英堂古300
275	盛唐	七律	杜甫	杜甫	704?-754	桐原古100, 東書古b-111, 明治古122
276	盛唐	五絶	杜甫	杜甫	712-770	大修館古a-084+, 東書古a-231, 文英堂古303
277	盛唐	五律	杜甫	杜甫	712-770	桐原古044, 三省堂古058, 第一古a-100, 大修館古a-142, 筑摩古025, 東書古b-092
278	盛唐	五律	杜甫	杜甫	712-770	教研古a-084+, 東書古b-025, 明治古042
279	盛唐	五律	杜甫	杜甫	712-770	第一古c-168, 東書古b-113
280	盛唐	五律	杜甫	杜甫	712-770	三省堂古028, 東書古b-110, 文英堂古300
281	盛唐	五律	杜甫	杜甫	712-770	桐原古100, 東書古b-111, 明治古122
282	盛唐	七律	杜甫	杜甫	712-770	大修館古a-084+, 東書古a-231, 文英堂古303
283	盛唐	七律	杜甫	杜甫	712-770	桐原古044, 三省堂古058, 第一古a-100, 大修館古a-142, 筑摩古025, 東書古b-092
284	盛唐	七律	杜甫	杜甫	712-770	教研古a-084+, 東書古b-025, 明治古042
285	盛唐	五古	杜甫	杜甫	712-770	第一古c-168, 東書古b-113
286	盛唐	五古	杜甫	杜甫	712-770	三省堂古028, 東書古b-110, 文英堂古300
287	盛唐	古詩	杜甫	杜甫	712-770	桐原古100, 東書古b-111, 明治古122

288	盛唐	古詩	賀交行	杜甫	712-770	文英堂199		數研古a-030+, 第一古a-049+, 大修館古a-018+, 東書古a-169+, 明治古041
289	盛唐	七絶	嶺中の作	岑參	715-770			三省堂古029
290	中唐	五律	僧の日本に帰るを送る	錢起	722-780?			大修館古a-170+, 172+, 174+, 177+, 180+, 文英堂古404
291	中唐	人虎伝	李景亮	李微: 756年進士		數研a-308+, 大修館a-288		數研古a-035+
292	中唐	五絶	雁を聞く	韋諷物	736?-791?	三省堂a-181		桐原古127, 三省堂古138, 數研古a-109+, 筑摩古144, 明治古106
293	中唐	七律	李憺・元帥に寄す	韋諷物	736?-791?			筑摩古052, 東書古b-177
294	中唐	人面桃花	孟榮	祖讓: 796年進士		大修館a-280+		東書古b-174
295	中唐	七律	左遷せられて藍関に至り庭旅湘に示す	韓愈	768-824			第一古a-024+, 東書古a-175
296	中唐	雜説	在遷野に与ふる書	韓愈	768-824			桐原古050, 三省堂古186, 數研古a-148+, 大修館古a-138+, 筑摩古062, 文英堂古396, 明治古164
297	中唐	師の説		韓愈	768-824			第一古c-214
298	中唐	猫相乳、司使北平王の家に猫子を生んで日	韓愈	韓愈	768-824			第一古a-008+, 明治古011
299	中唐	猫相乳、司使北平王の家に猫子を生んで日	韓愈	韓愈	768-824			筑摩古029, 文英堂古295
300	中唐	雜説	を同じくする者あり	韓愈	768-824			桐原古026, 第一古a-018+
301	中唐	七絶	謝靈運夜泊	張籍	772-846			第一古a-050+
302	中唐	五絶	秋風への引	劉禹錫	772-846			桐原古031, 東書古a-173
303	中唐	五律	除夜 弟妹に寄す	白居易	772-846			明治古043
304	中唐	七律	八月十五日夜禁中に独り直し月に対して元九を憶う	白居易	772-846			桐原古105, 三省堂古130, 數研古a-160+, 第一古a-112+, 大修館古a-155+, 筑摩古112, 東書古a-232+, 文英堂古362, 明治古191
305	中唐	七律	香奩峰下に新たに山居をとり草堂初めて成る側東廡に題す	白居易	772-846			大修館古a-112
306	中唐	七古	長恨歌	白居易	772-846			東書古b-148
307	中唐	七古	荔枝餽	白居易	772-846			東書古b-148
308	中唐	詩	春を留むるに春住まらず (6字4句)	『和漢朗詠集』三月	白居易: 772-846			東書古b-148
309	中唐	詩	桐原子春婦りて留むること得ず* (7字2句)	『和漢朗詠集』三月	白居易: 772-846			東書古b-148
310	中唐	雜説に与ふるの書	白居易	白居易	772-846			東書古b-022
311	中唐	五絶	江雪	柳宗元	773-819			三省堂a-176, 數研c-259, 第一古a-180+, 大修館a-262+, 筑摩179, 文英堂208, 明治149
312	中唐	七古	漁翁	柳宗元	773-819			筑摩古109
313	中唐	捕蛇者の説		柳宗元	773-819			桐原古117, 三省堂古190, 數研古a-144+, 第一古a-102, 大修館古a-060+, 筑摩古086, 東書古b-178, 文英堂古333, 明治古168
314	中唐	鶴の囀		柳宗元	773-819			第一古a-026+
315	中唐	鶴の説		柳宗元	773-819			第一古c-216
316	中唐	鶴江の鷹		柳宗元	773-819			桐原古134
317	中唐	夜坐して書を讀すれば俗至る		柳宗元	773-819			大修館古a-093+
318	中唐	三疊記		白居易	776?-826			
319	中唐	定新居		李復言	元和二年: 807年			
320	中唐	七絶	白楽天の江州司馬に左遷せられしを聞く	元稹	779-831			桐原171
321	中唐	七絶	鶴を飼まで鶴を歎す	元稹	779-843			三省堂a-174

322	晩唐	七絶	建康使臣的車轅	許渾	747?-854?		大修廟古-a-023+	
323	晩唐	七絶	鈞江亭に題す	杜牧	803-853?	三省堂0-165, 第一-a-181+, 筑摩180, 文英堂209, 明治148	三省堂古050, 東書古-a-196+	
324	晩唐	七絶	江南の春	杜牧	803-853?		教研古-a-030+, 東書古b-023	
325	晩唐	七絶	山行	杜牧	803-853?	教研古-171+, 大修館-a-263+		
326	晩唐	五絶	別行	杜牧	803-853?		大修館古-a-021+	
327	晩唐	五絶	酒を勧む	李賀	810?-?		教研古-a-028+, 大修館古-a-021+, 東書古-a-167+	
328	晩唐	五絶	東洛原に暮る	李賀	810?-858		筑摩古028, 明治古040	
329	晩唐	五絶	葉限	『酉陽雜俎』	段成式: 7-863		三省堂古-146	
330	五代	五絶	古詩	唐彦	882-954		文英堂古372	
331	北宋	五絶	岳陽樓記	范仲淹	969-1052		桐原古120	
332	北宋	五絶	正午の牡丹	『夢溪筆談』	咸亨: 1004-1068		明治古172	
333	北宋	五絶	朋党論	歐陽脩	1007-1072		東書古b-182	
334	北宋	五絶	祭告論	歐陽脩	1007-1072		教研古-a-090+, 第一古-a-028+	
335	北宋	五絶	愛蓮の説	周敦頤	1017-1073		筑摩古070, 明治古061	
336	北宋	五絶	鳥は春	王安石	1021-1086		三省堂古050, 東書古-a-196+	
337	北宋	五絶	ゆきを偲む	王安石	1021-1086		筑摩古157	
338	北宋	五絶	孤僧若伝を讀む	王安石	1021-1086		第一古-a-018+	
339	北宋	五絶	六月二十七日望湖樓醉書	蘇軾	1036-1101		大修館古-a-017+	
340	北宋	五絶	春夜	蘇軾	1036-1101	三省堂古027, 第一古-c-159, 明治古044		
341	北宋	五絶	通鑑蒙の通判閣	蘇軾	1036-1101	教研古-a-031+		
342	北宋	五絶	余曠の賦	蘇軾	1036-1101	三省堂古194, 筑摩古102		
343	北宋	五絶	医業論笑	蘇軾	1036-1101	第一古-a-120+		
344	北宋	五絶	留侯論	蘇軾	1036-1101	桐原古064		
345	北宋	五絶	范曄論	蘇軾	1036-1101	桐原古065		
346	北宋	五絶	雨中石湖樓に登り君山を望む	黃庭堅	1045-1105	教研古-a-032+		
347	北宋	五絶	鳥江	李清照	1084-?		三省堂古051	
348	南宋	七律	山西の村に遊ぶ	陸游	1125-1210?		三省堂古031, 第一古-c-160, 大修館古-a-028, 筑摩古032, 明治古045	
349	南宋	七律	連鵬	楊万里	1127-1206		明治古044	
350	南宋	七律	道うころは父母の心を母たるの心は	『論語集注』	朱熹: 1130-1200	東書b-279		
351	南宋	七律	母を敬さざるにあらす。然るに	『論語集注』	朱熹: 1130-1200	教研-a-191+		
352	元	五絶	劉基の言	劉基	1311-1375		桐原古124, 第一古-a-124+	
353	元	五絶	賈伯道を悼す	陶宗儀			第一古-a-122+	
354	明	五絶	胡隱君を尊ぬ	高啓	1336-1374		教研古-a-029+	
355	明	五絶	鹿洞を畏る	孫宏道	1568-1610	明治古176		
356	明	五絶	『笑府』	『笑府』/『五雜俎』	譚夢龍: 1574-1646		東書古-a-162, 文英堂古270	
357	明	五絶	一人の性 緩なり。冬日、人と共に炉を囲み	『笑府』	譚夢龍: 1574-1646	桐原148		
358	明	五絶	一進孝先生の官に在りし時、馬廐残けた	『笑府』	譚夢龍: 1574-1646	教研-c-274		
359	清	五絶	劉隆	朱彝孫	1629-1709	文英堂219		
360	清	五絶	氣を種う	『聊齋志異』	蒲松齡: 1640-1715	桐原古130		
361	清	五絶	酒典	『聊齋志異』	蒲松齡: 1640-1715	三省堂古142, 教研古-a-113+, 第一古-a-066+		
362	清	五絶	御廟用史論	『大清世宗憲皇帝実録』	雍正帝: 1678-1735	東書古b-184		
363	清	五絶	落着殿別	『龍溪草堂筆記』	明公晟: 1723年進士	教研古-a-116+		
364	清	五絶	字を為す	彭端淑	1699-1779	第一古-b-126+		
365	現代	五絶	故郷	魯迅	1881-1936			
							教出3-180, 三省堂3-162, 東書3-154, 光村3-99/	

日01	飛鳥	憲法と七条	聖德太子	604	筑紫50	
日02	奈良	五絶 唐に在りて本郷を憶う	井正			三省堂古29
日03	奈良	五絶 自詠	菅原道真	845-903		三省堂古082
日04	平安	七絶 梅花	菅原道真	845-903		数研古a-036+
日05	平安	七絶 旅雁を聞く	菅原道真	845-903		筑摩古034, 東書古a-202+
日06	平安	七絶 旅雁を聞く	菅原道真	845-903		文英堂216
日07	平安	七絶 門を出でず	菅原道真	845-903	数研古178	第一古a-054+, 大修館古a-080+
日08	平安	七律 家書を讀む	菅原道真	845-903	桐原194, 第一a-186+	明治古179
日09	平安	七律 春を送るに舟車を動かすことを用いず (7字5句)	『和漢朗詠集』三月	菅原道真: 845-903		東書古b-149
日10	平安	五絶 古古今和歌集 真名序	紀原望	?-918		数研古a-170+, 筑摩古096
日11	平安	五絶 王昭君	大江朝綱	886-957		筑摩古059
日12	平安	五絶 柳夢記	藤原保胤	?-997		三省堂古088
日13	平安	五絶 春水三年正月	184		大修館古-213	
日14	平安	五絶 藤原安高	『春集錦』	1184	筑摩174	
日15	平安	五絶 柳の浦	『日本外史』	國體: 1185		明治古183
日16	室町	七絶 花に對して昔を憶う	義家周信	1325-1388		桐原古037
日17	室町	七絶 山花茶	義家周信	1325-1388		三省堂古082
日18	室町	五律 野古の鳥の僧房の壁に題す	細能中津	1336-1405		数研古a-037+
日19	戦国		雲は紫雲に爛たわたりて家何くにか在る	細葉一徹: 1515-1589		筑摩古051
日20	戦国		争う所米唄に在らず	武田信玄: 1521-1573		三省堂古090, 大修館古a-084, 東書古a-266+, 文英堂古346
日21	戦国		川中島の戦い 信玄何くに在る	武田信玄: 1521-1573		桐原古042, 数研古a-141+, 筑摩古136
日22	戦国		諸將 信玄に服す	武田信玄: 1521-1573		東書古a-268+
日23	戦国		四陣 齋藤信玄の死を聞く	武田信玄: 1521-1573		東書古a-270
日24	戦国		九月十三夜	1530-1578		文英堂古297, 明治古179
日25	江戸	七絶 富士山	石田丈山	1583-1672	数研古-264, 明治古154	東書古b-017
日26	江戸	七絶 奥山の遠望	『先哲叢談』	1627-1705	桐原197	
日27	江戸	七絶 伊藤仁斎	伊藤仁斎	1627-1705	東書古-245+	東書古b-053
日28	江戸	七絶 人々 聖人に非ず	貝原益軒	1630-1714	明治古172	
日29	江戸	七絶 然らず道に思うは これ自得する	貝原益軒	貝原益軒: 1630-1714		筑摩古034
日30	江戸	七絶 御事	新井白石	1637-1725		桐原古168
日31	江戸	七絶 母は孝者の急とする所に非ず	致生祖孫	1666-1728	数研古-191+	
日32	江戸	七絶 父を救う者おにだに師を救うのみにて	致生祖孫	致生祖孫: 1666-1728		東書古b-057
日33	江戸	七絶 孟子 得書の言有りしより	『論語夜』	致生祖孫: 1666-1728	明治古173	
日34	江戸	七絶 一藤樹 鶴を振る仏縁を誦して	『笑話出題録』	乾嘉軒		三省堂古083, 明治古180
日35	江戸	七絶 夜 鶴水を下る	照部南郭	1683-1759	明治古186	第一古a-054+, 大修館古a-081
日36	江戸	七絶 筋籠	『解体新書』	1774	三省堂古-177	
日37	江戸	七絶 冬夜讀書	菅茶山	1748-1827		桐原古038, 三省堂古091, 数研古a-037+, 大修館古a-085
日38	江戸	七絶 返歌を下る	菅茶山	1748-1827		大修館古a-081+
日39	江戸	五絶 良寛	良寛	1768-1831	数出3-139/	桐原古039
日40	江戸	七絶 不識菴梅山を撃つのに題す	頼山陽	1780-1832		三省堂古092
日41	江戸	七絶 桂林往還記、諸生に示す	不識菴梅山	1782-1856		大修館古a-082+
日42	江戸	七絶 夏夜	江藤澹雪	1787-1861		三省堂古084
日43	江戸	七絶 望遠樓寄	林鶴梁	1806-1878		
日44	江戸	七絶 まさ七転ぶせんとして壁に題す	月性	1817-1858		
日45	江戸	七律 大相模山	大相模山	1818-1891		
日46	江戸	七律 烏衣堂寄	成斎柳北	1837-1884	明治古154	

日47	明治		森岡外	1862=1922			三省堂古086
日48	明治	新南日記	長尾晴山	1864=1942			文英堂古307
日49	明治	題名地國	中野通通	1867=1894			桐原古040
日50	明治	五絶 君を思ふ	中野通通	1867=1894		第一-a-187+	三省堂古086, 第一古-a-465+, 東書古a-263+, 文英堂古301, 明治古180
日51	明治	五律 夏目漱石の伊予に之くを送る	正岡子規	1867=1902			三省堂古085, 筑摩古035, 明治古182
日52	明治	五絶 自画に題す	夏目漱石	1867=1916		文英堂217	
日53	明治	五絶 無題 秋風 万木鳴り	夏目漱石	1867=1916		桐原196	
日54	明治	五絶 無題 日は三春に似て永く	夏目漱石	1867=1916		三省堂b-173	
日55	明治	五絶 春日御成 道うなかなれ風塵に暮ゆと	夏目漱石	1867=1916		数研c-263	
日56	明治	五絶 春日御成 流鶯夢を呼びてまり	夏目漱石	1867=1916		三省堂a-186	数研古a-038+, 大修館古a-083+, 明治古181
日57	明治	七絶 自画に題す	夏目漱石	1867=1916			東書古a-264+
日58	明治	七律 無題 朝に書研を蒔い夕に書を愛す	夏目漱石	1867=1916		三省堂a-187	
日59	明治	(五言句)	夏目漱石	1867=1916		東書a-229+	
日60	明治	七絶 秋後の新緑 美なること加うるなし、散步	幸田露伴	1867=1946			
日61	明治	七絶 河上肇	河上肇	1879=1946		数研a-179+	

付表2 「拙稿2-2」での教科書では扱われていたが、今回、扱われなくなった教材一覧

No.	時代	文体	教材	出典/作者	生卒	中学校「国語」/高等学校「国語総合」 (平成26,27年度末検定済)	高等学校「古典B」 (平成28年度末検定済)
日001	一般		六公望	『十八史略』			明治古b-096
日002	西朝		褒姒やいに笑う	『十八史略』	周幽王：位陵781=BC771		第一古c-178
日003	春秋	古詩	子料	『詩経』鄭風	春秋前半		第一古c-250
日004	春秋	古詩	明詠	『詩経』魏風	春秋前半		三省堂古a-097+
日005	春秋		李耳 李耳剣を挂く	『要采』	李耳：BC561?-BC515?		数研古a-086+, 三省堂古b-202
日006	春秋		風林火山	『要采』	孫武：BC506頃		数研古c-065
日007	春秋		秦西巴	『孫子』	孫武：BC531=BC481		文英堂古-232
日008	春秋		弟子 入りては即ち孝	『論語』01学而	孔子：BC552?-BC479		第一古b-060+
日009	春秋		礼の用は和を貴しと為す	『論語』01学而	孔子：BC552?-BC479		東書古b-374+
日010	春秋		君子は食飽かんことを求むることなし	『論語』01学而	孔子：BC552?-BC479		大修館古c-248
日011	春秋		人の己を知らざるを患えず	『論語』01学而	孔子：BC552?-BC479	数研c-330	
日012	春秋		今の者は、これよく養うを問う。	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479		第一古c-217
日013	春秋		十世知らずべきや	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479		東書古b-374+
日014	春秋		本朝 二三子、何ぞ憂えることを患えんや	『論語』03八佾	孔子：BC552?-BC479		文英堂古-265
日015	春秋		参乎、吾渾は一以て之を服く	『論語』04里仁	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-143+, 大修館c-338	数研古a-060+, 東書古b-282+
日016	春秋		父兄の年知らざるべからず	『論語』04里仁	孔子：BC552?-BC479	数研c-332	東書古b-244
日017	春秋		徳知らず、必ず難有りと	『論語』04里仁	孔子：BC552?-BC479		第一古b-039+, 筑摩古-068
日018	春秋		由ら、千乘の国其の取を求めしむべし	『論語』05公冶長	孔子：BC552?-BC479		東書古b-376+
日019	春秋		女に回や駭れか驚れると。	『論語』05公冶長	孔子：BC552?-BC479		数研古a-063+
日020	春秋		朽木は彫るべからず。糞土の甕は行るべからず	『論語』05公冶長	孔子：BC552?-BC479		数研古a-061+
日021	春秋		己を知らず。吾いまだよくその過ちを言。	『論語』05公冶長	孔子：BC552?-BC479		第一古c-216
日022	春秋		質、文に勝れば即ち野、文、質に勝れば即ち史。	『論語』06雍也	孔子：BC552?-BC479		大修館古c-249
日023	春秋		仁、遠からんや。我仁を欲つれば斯に仁とする	『論語』07述而	孔子：BC552?-BC479	数研b-359	

前024	春秋	わつりまたとい大難を得ずとも	『論語』09子罕	孔子：BC552?-BC479	筑摩古-068
前025	春秋	白にみちて礼に復るを仁と爲す	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	筑摩古b-281+
前026	春秋	人皆を善あり	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	筑摩古-066
前027	春秋	賜や、なんじ予をもつて多く学びて之を識る者と爲すか	『論語』15衛靈公	孔子：BC552?-BC479	筑摩古-065
前028	春秋	之を如何せん、之を如何せんと曰わざる者	『論語』15衛靈公	孔子：BC552?-BC479	筑摩古-065
前029	春秋	人より道を引む。道の人を引むるに非ざるは	『論語』15衛靈公	孔子：BC552?-BC479	筑摩古-068
前030	春秋	子もまた罵詈あるか	『論語』16季氏	孔子：BC552?-BC479	文英堂古-266
前031	春秋	子 武城にゆき弦歌の聲を聞く。…鳴を聞くにいすくんぞ牛刀を用いん	『論語』17陽貨	孔子：BC552?-BC479	大修館古a-067+, 東書古a-245+
前032	春秋	由より、なんじ六言の六蔽を開けるか	『論語』17陽貨	孔子：BC552?-BC479	筑摩古-086
前033	春秋	隠だふれば善美し	『韓非子』17陽貨	墨伯：?-BC453	第一古a-090+
前034	春秋	望の車王 蜚を垂む	『新序』逸事	楚惠王：位BC488-BC482	第一古a-233
前035	戦国	無為にして爲さざること無し	老子 48章	老子：BC400頃?	大修館古c-302
前036	戦国	老子 良賈は深く蔵して虚しきがごとし	『史記』老子韓非列伝	老子：BC400頃?	筑摩古-112
前037	戦国	一を殺さば、これを不義と謂い、	『墨子』非攻上	墨翟：BC468?-BC376	教出古a-154, 桐原古-157
前038	戦国	戦い窮むるに勝てり	『韓非子』30内儲説	齊威王：位BC369-BC319	第一古a-016+
前039	戦国	慈恵國を亡ぼす	『列女伝』	孟子：BC372?-BC289?	明治古-051
前040	戦国	孟子所機	『孟子』01梁惠王下	孟子：BC372?-BC289?	三省堂古a-080, 明治古a-012
前041	戦国	王の臣、その妻子をその友に託して疑にゆき	『孟子』01梁惠王下	孟子：BC372?-BC289?	筑摩a-160+
前042	戦国	天下の広原に居り、天下の臣位に立ち、	『孟子』03滕文公下	孟子：BC372?-BC289?	大修館古c-251
前043	戦国	人を愛して親しまざればその仁に反れ	『孟子』04離婁上	孟子：BC372?-BC289?	文英堂古-268
前044	戦国	人に存する者は、陛下より良きはなし	『孟子』04離婁上	孟子：BC372?-BC289?	明治古b-133
前045	戦国	天爵・人爵	『孟子』06告子上	孟子：BC372?-BC289?	三省堂古a-010+
前046	戦国	運命舞いて下らず	『列子』	莊子より前?	三省堂古a-154+
前047	戦国	紀昌目を置く	『史記』	『列子』にもあり	教出古a-148+
前048	戦国	北原に負有り其の各を聞と爲す	『莊子』内篇逍遙游	莊周：BC369?-BC286?	明治古b-260
前049	戦国	東陽以て朝雪を觀べく、毛以て風寒を禦すべし	『莊子』外篇馬蹄	莊周：BC369?-BC286?	第一古a-280
前050	戦国	饒風 出でて遊ぶこと能事なり	『莊子』外篇秋水	莊周：BC369?-BC286?	第一古a-104+
前051	戦国	饒風 晝暮君 時に君に相たりて、	『史記』孟嘗君列伝	孟嘗君：?-BC279?	第一古a-094+
前052	戦国	信陵君。魏の公子無忌は、魏の昭王の少子にして	『史記』魏公子列伝	信陵君：?-BC243	第一古a-226
前053	戦国	趙の太后	『韓非子』趙策	趙惠文王 (位BC298-BC266) の后	桐原古-073
前054	戦国	魏の趙、蘇は大なるにしくはなく、	『韓非子』23説林下	韓非：BC295?-BC233	筑摩古-119
前055	戦国	教字はあい長するなり	『礼記』	張良：?-BC189	筑摩古-082, 明治古b-214
前056	前漢	張良 圯上の老父	『史記』留侯世家	李広：BC?-BC119	明治古a-009
前057	前漢	李広、石に中りて矢を没す。成蹊	『史記』李將軍列伝	梅賾：54-124	明治古a-088+
前058	後漢	矢知る地知る。震 四知を養る	『資治通鑑』/『蒙求』		後漢古-081
前059	後漢	張氏 新式と張衡	『後漢書』		
前060	後漢	古詩 招招たる牽牛星	『文選』		

前061	三国		歳少くして機警、權数有り。任佐放蕩にし て		『十八史略』	曹魏：155-220	教研c-326	三省堂古a-086+
前062	三国		蔡邕に合字を題す		『世説新語』	曹魏：155-220	三省堂c-2965	
前063	三国		前に大いなる梅林あり		『世説新語』	曹魏：155-220	三省堂c-2966	
前064	三国		諸葛孔明、七縱七擒		『十八史略』	諸葛亮：181-234	東書古a-208	
前065	三国		諸葛亮智をもつて華容に驚る		『三国志演義』50回	諸葛亮：181-234	第一古a-150+	
前066	三国		郭嘉主曹冲		『三国志』	曹冲：196-208	教出古a-018+	
前067	三国		曹植白眼		『世説新語』	阮籍：210-263	明治古b-216	
前068	西晋		復仇		『晋書』	晋武帝：236-290	三省堂b-346	
前069	西晋		陸機の犬		『世説新語』	陸機：261-303	三省堂古a-064	
前070	西晋		千日の酒、狄希は中山の人なり		『世説新語』	咸康：335-342	教出古a-166+, 筑摩古-049	
前071	東晋		白鶴		『世説新語』	桓温：312-373	筑摩古-032	
前072	東晋		梁曹の功		『世説新語』	王羲之：321-358	明治古b-091	
前073	東晋		王右軍、此君		『世説新語』	王羲之：321-358	文英堂古-231	
前074	東晋		謝安		『世説新語』	謝安：365-427	第一古b-051	
前075	南朝		謝安		『世説新語』	謝安：365-427	第一古b-049+	
前076	初唐		新羅史		『新羅史』	新羅：403-444	文英堂古-280	
前077	初唐		西夏の異朝（貞觀の治）		『十八史略』	唐太宗：597-649	大修館古b-291, 東書古b-341+	
前078	初唐		五絶 易大汲別		賈至文	688-742	三省堂古b-212, 東書古b-257+	
前079	盛唐		七絶 洛陽別		李賀	701-762	三省堂古a-118	
前080	盛唐		七絶 魚腹記		李賀	701-762	三省堂古a-102	
前081	盛唐		七絶 春夜洛陽聞笛		李白	701?-765	三省堂古b-211	
前082	盛唐		七絶 酒を和りて月に問う		李白	701?-765	三省堂古b-211	
前083	盛唐		五律 春夜雨を蒙ぶ		杜甫	712-770	三省堂古a-020	
前084	盛唐		五律 衛人処主に贈る		杜甫	712-770	明治古a-075	
前085	盛唐		七古 胡笳歌		岑參	715-770	教出古b-313	
前086	中唐		五律 涼夜石頭の觀に宿る		戴叔倫	732-789	文英堂古-253	
前087	中唐		五絶 秋目		耿湋	734-?	明治古a-120+	
前088	中唐		五絶 秋夜江員外に寄す		耿湋	734?-791?	大修館c-322, 筑摩a-153+, 東書c-156	
前089	中唐		五古 夢名吟		孟郊	761-814	第一古c-252	
前090	中唐		五古 夢を呼喚詩終		孟郊	768-824	第一古b-140	
前091	中唐		七絶 舟中にて元九の詩を誦む		白居易	772-846	明治古b-113	
前092	中唐		七絶 蘇子瞻の任にめぐを渡るの序		柳宗元	773-819	大修館古b-336, 三省堂古a-048, 明治古b-125	
前093	晚唐		七絶 別れに贈る		杜牧	803-853?	大修館古b-018+	
前094	晚唐		七絶 山寺の夏目		高駢	7-487	筑摩a-154+	
前095	北宋		五絶 遠山		歐陽脩	1007-1072	筑摩a-152+, 東書a-333, 明治a-122+	
前096	北宋		五絶 夢中記		歐陽脩	1007-1072	東書古b-392+	
前097	北宋		詩人 好句を食り求む		歐陽脩	1007-1072	明治古a-066	
前098	南宋		入蜀記		陸游	1125-1210?	第一古a-076+	
前099	元		天下大面を畫ぶ		劉基	1311-1375	教研古-100	
前100	明		唐詩絶句の詠字		楊慎	1488-1559	教研古-102	
前101	明		奇花石		唐順之	1507-1560	第一古a-134+	
前102	明		道玄らかなばらば人皆道に由らん		呂坤	1536-1618	第一古a-136+	
前103	清		養生書を借るの説		袁枚	1716-1797	第一古a-141+	
前104	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797	文英堂古-299	
前105	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797	第二古a-144+	
前106	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797	明治古b-145	
前107	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797	筑摩古-086	
前108	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797	大修館古b-282	
前109	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797	明治古b-287	
前110	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前111	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前112	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前113	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前114	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前115	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前116	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前117	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前118	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前119	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前120	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前121	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前122	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前123	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前124	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前125	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前126	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前127	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前128	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前129	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前130	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前131	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前132	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前133	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前134	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前135	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前136	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前137	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前138	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前139	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前140	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前141	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前142	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前143	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前144	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前145	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前146	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前147	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前148	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前149	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前150	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前151	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前152	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前153	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前154	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前155	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前156	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前157	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前158	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前159	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前160	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前161	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前162	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前163	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前164	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前165	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前166	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前167	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前168	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前169	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前170	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前171	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前172	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前173	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前174	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前175	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前176	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前177	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前178	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前179	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前180	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前181	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前182	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前183	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前184	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前185	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前186	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前187	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前188	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前189	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前190	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前191	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前192	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前193	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前194	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前195	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前196	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前197	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前198	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前199	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		
前200	清		七律 崇禎		袁枚	1716-1797		

創刊05	江戸	俳諧	佐藤一斎	1729=1859		明治古a=141+
創刊06	江戸	七古	京草紙に治す	1780=1832		三省堂古a=075+
創刊07	江戸	歌集一校	熊山陽翠	1798=1860		三省堂古a=076
創刊08	江戸	七絶	犬屋車中の作	1837=1880		桐原古=038
創刊09	明治	七絶	風流入いまだ死せず	1867=1916		東書古a=258

付表3 「拙稿1」「拙稿2」の教科書で扱われたことがあり、今回、再び扱われるようになった教材一覧

No.	時代	文体	教材	出典/作者	生卒	「拙稿1」 中学校「国語」(平成16年度末検定済)/高等学校「国語総合」(平成17年度末検定済)/高等学校「古典」(平成14～19年度末検定済)	「拙稿2」 中学校「国語」(平成22年度末検定済)/高等学校「国語総合」(平成23年度末検定済)/高等学校「古典」(平成24～25年度末検定済)
42	春秋		朝に道を聞かば 徳有る者は必ず言有り、言有る者必ずしも 徳有らず 仁者は必ず勇有り、勇者は必ず しも仁有らず	『論語』04里仁 『論語』14蘧問	孔子：BC552?-BC479 孔子：BC552?-BC479	右文252/筑摩古052 筑摩古046	
88	春秋		益者三友、損者三友、直きを友とし、諒を 友とし	『論語』16季氏	孔子：BC552?-BC479	右文251/筑摩古045	
110	戦国		無事を以て天下を取る	『老子』57章	老子：BC400頃?	大修館古2=260,東書古*152	
141	戦国		霜大にして用無し。予独り難望を見ずや。 身を尊くして伏し、以て敵を害を候つ。	『莊子』内篇逍遙遊	莊周：BC360?-BC286?	桐原古133	
197	後漢		大谷二女	『御明録』	AR2	第一a=108	桐原古a=142+
288	盛唐	古詩	貧交行	杜甫	712-770	右文267	第一a=136
290	中唐	五律	蜀の日本に帰るを送る	綦良	792-780?	東書古023	東書古a=023
333	北宋	朋黨論	朋黨論	歐陽脩	1007-1072	東書古163	
337	北宋	仲永を憐む	仲永を憐む	王安石	1021-1086	第一古136	
338	北宋	孟嘗君伝を説く	孟嘗君伝を説く	王安石	1021-1086		第一古b=276
日15	平安		理ノ圃	『日本外史』	堀ノ圃：1185	教出古b=094	
日19	戦国		雲は秦嶺に横たわりて家何くにか在る	大綱轉読『近代史 談』	稲葉一徹：1515-1589	大修館古1=208	
日24	戦国	七絶	九月十三夜		1530=1578	明治古286	
日54	明治	五絶	無頼 目は三輪に似て氷く	夏目漱石	1867=1916	筑摩古028	筑摩古031,明治古a=137